

サイトバンカ建屋における流入箇所の調査状況について

2019年2月28日

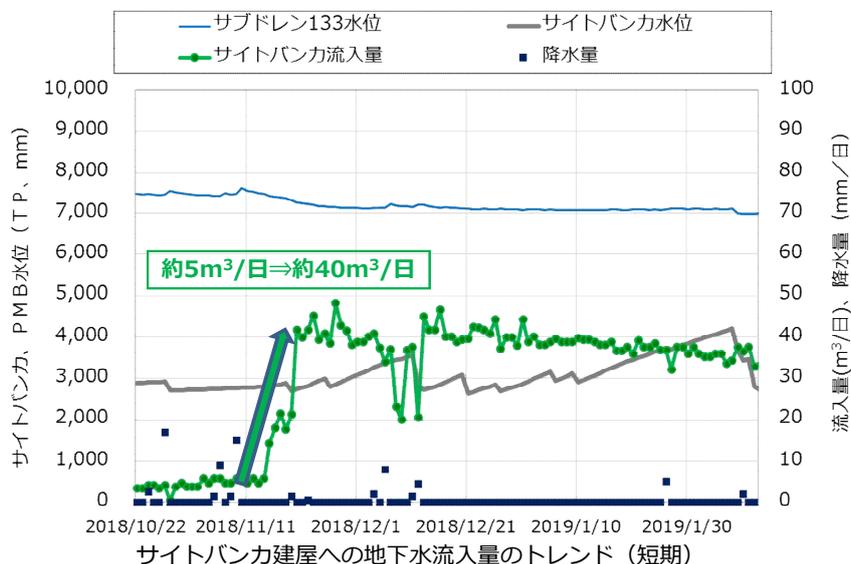


東京電力ホールディングス株式会社

概要

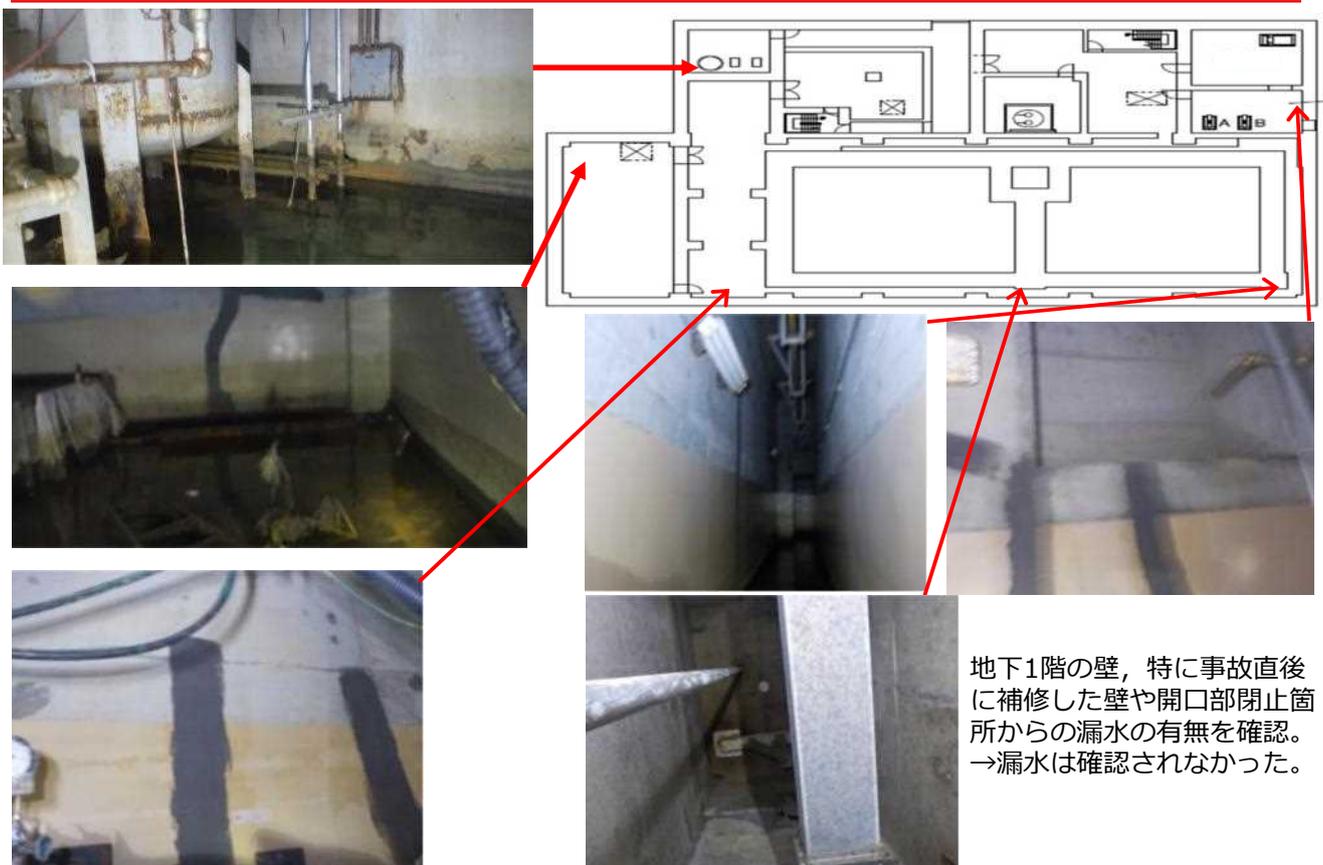
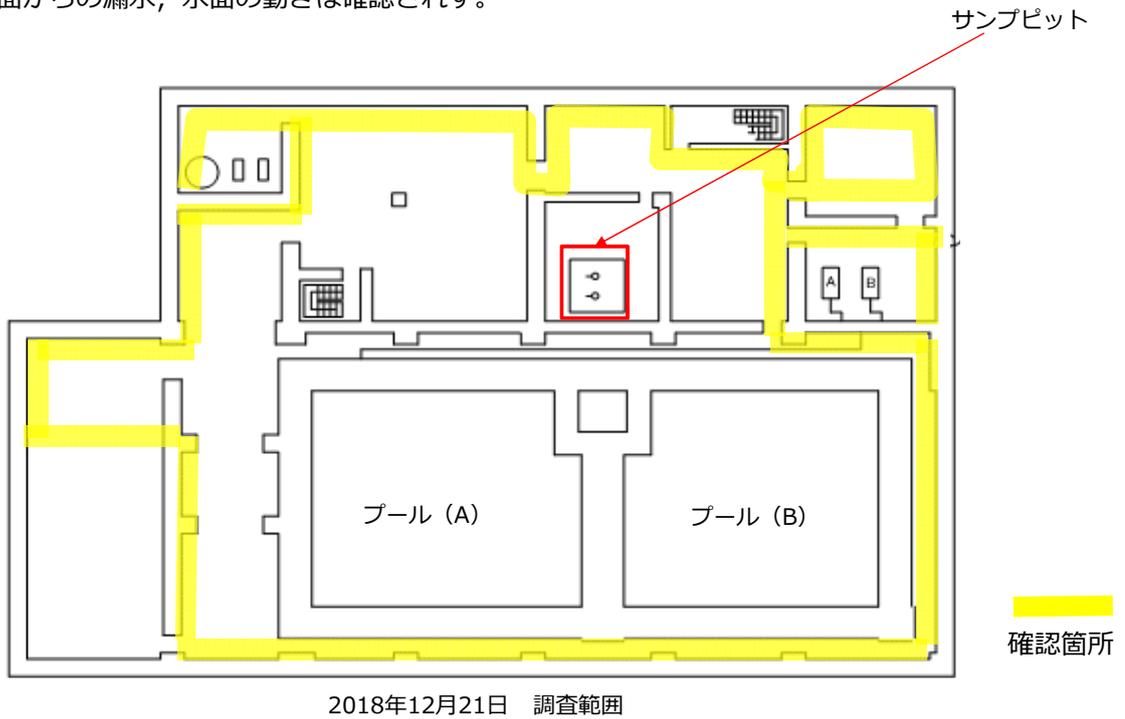


- サイトバンカ建屋への地下水流入量が、約 $5\text{m}^3/\text{日}$ であったものから、11月中旬から増加傾向となり、約 $40\text{m}^3/\text{日}$ の流入量となっていることを確認した。
- 2018年12月以降、サイトバンカ建屋内の水位を低下させ、原因調査を実施した。
 - ① 2018年12月21日 現場調査
 - ② 2019年 2月13日～ 仮設ポンプの設置ならびに水抜き
 - ③ 2019年 2月20,21日 水抜き後の調査を実施



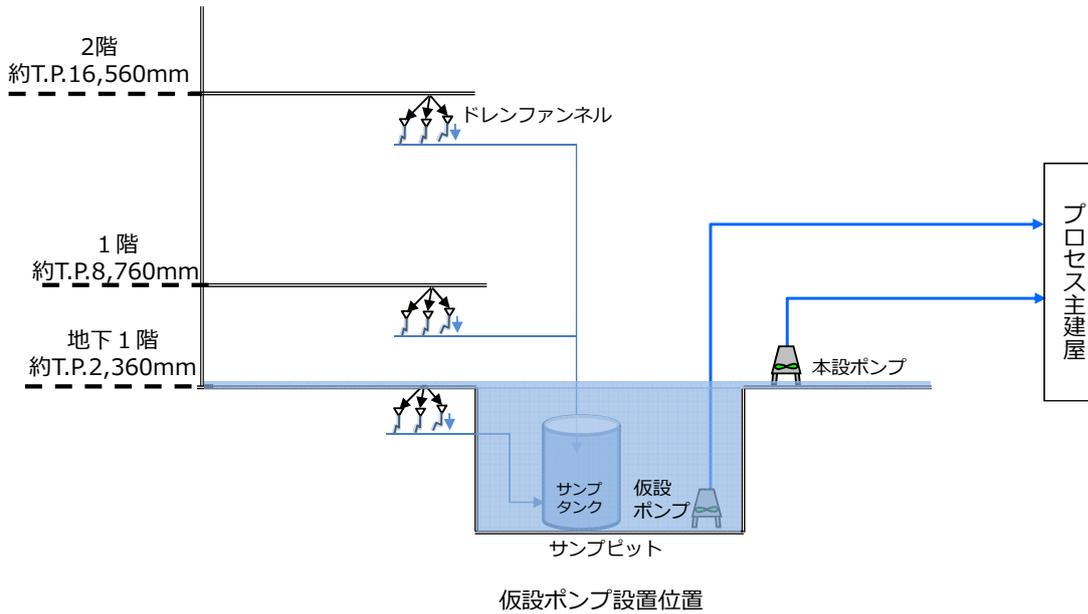
■ 調査箇所

地下1階床面から約400mmまで水抜きを実施後、2018年12月21日に目視にて壁面の観察を実施したが、壁面からの漏水、水面の動きは確認されず。



② 仮設ポンプの設置ならびに水抜き

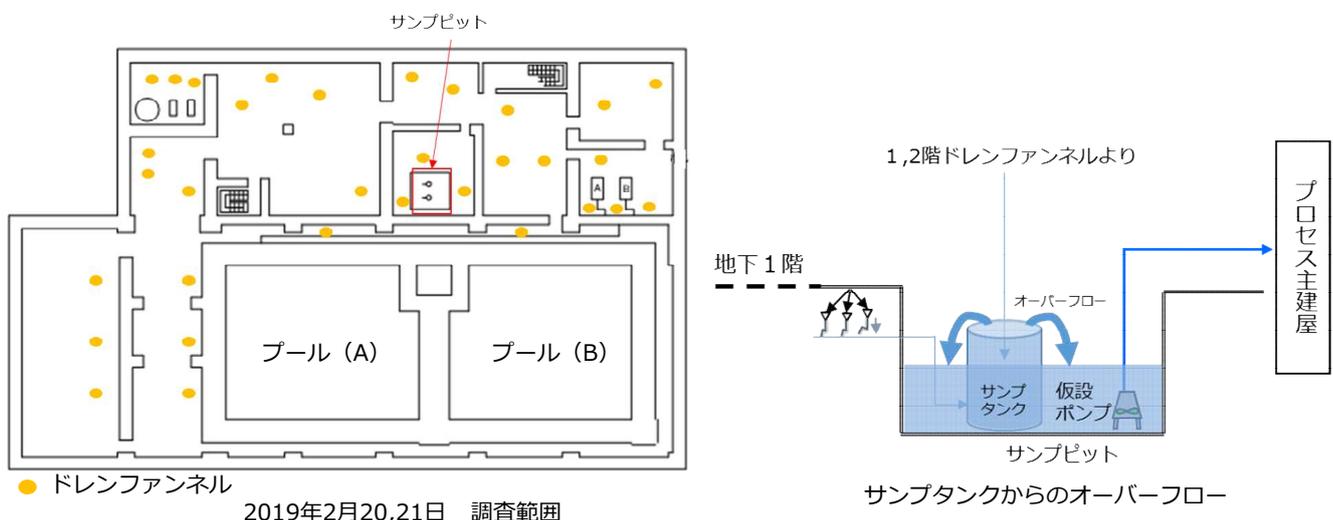
- サンプピット内に仮設ポンプを追設し、サイトバンカ建屋地下1階の床面が露出するまで、移送した（2019年2月13日より実施）。
- 仮設ポンプの移送先は、本設ポンプ同様にプロセス主建屋である。
- サンプピット内のサンプタンクは、各階のドレンファンネルと接続されている。



4

③ 2019年2月20,21日 サイトバンカ建屋地下1階調査結果 (1/2)

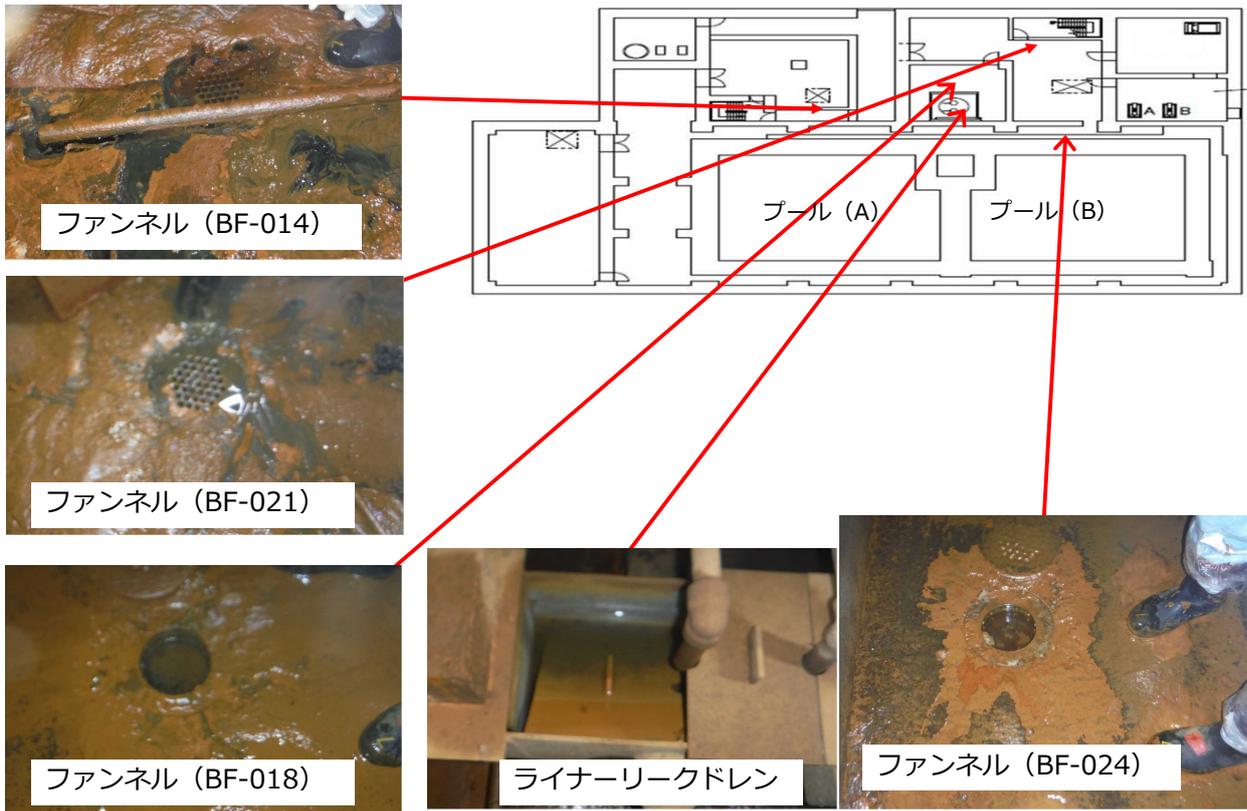
- 床面が露出した状態で、2019年2月20,21日に、サイトバンカ建屋地下1階で、下図に示すドレンファンネルの目視確認による、流入箇所調査を実施した。調査の結果は、下記の通り。
 - サンプピット内のサンプタンクから水がオーバーフローしており、ドレンファンネルから流入していると想定。
 - 一部のドレンファンネルについて、少量の水が流入していることを確認。
 - サンプピット内の水は、透明度が高く、スラッジ等の不純物は少量と推定（現在、分析中）。



● ドレンファンネル

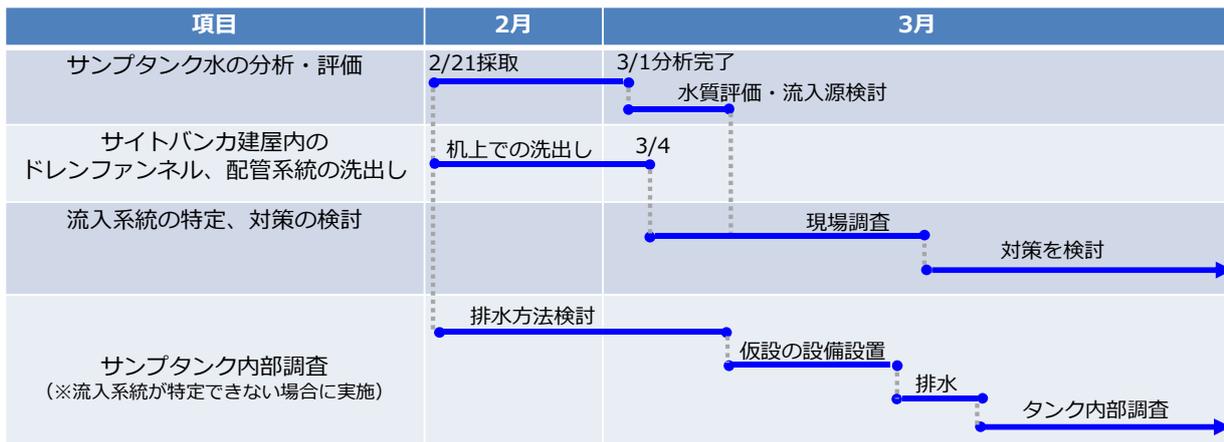
2019年2月20,21日 調査範囲

5



サンプタンク流入状況

- その他、以下の調査を実施した。
 - サイトバンカ建屋2階の貯蔵プールについて
 - 2018年11月以前から水位が変動していないことを確認（オーバーフローラインより70cm下で一定）
 - サイトバンカ建屋2階の第三セシウム吸着装置（SARRY II）について
 - ろ過水補給系統からの供給がないこと、ならびにSARRY II系統（ベントライン等）とドレンファンネルの接続がないことを確認（2019年2月実施）
 - その他系統について
 - ろ過水タンク保有量から、ろ過水の使用量に有意な変動がないことを確認
- 調査結果を踏まえ、社内調査体制を構築し、以下の対応を検討中。工程については、詳細調整中。



8

【参考】サイトバンカ建屋漏水修理工事について

【工事件名】 サイトバンカ建屋漏水修理工事
 【工 期】 2018年11月1日～2019年2月21日
 【施工内容】

昨年度、地下階から漏水が確認された場所の止水工事を実施した（完了）。

工程表



充填剤注入箇所の流入は止まっている。工事によって流入が増えたことは無い。
 サイトバンカ内部の確認箇所は、右図の地下水流入箇所としている箇所だけである。

現場状況

9

